

科目名	現代社会と福祉			
授業形態	講義	学年	1	
開講時期	2022年度 後期	単位数	2	
担当教員	渡部 淳			
内容および計画	<p>○現代社会で課題となっているテーマの中からいくつかを選択し事例を学ぶ事で理解を深める。</p> <p>○事例を通して支援の在り方、我々のすべきことを考える。</p> <p>○学習をとおし、共感する力（感受性）を磨き、先の見通しを立てる力（想像力、推察する力）及び支援者として必要なアセスメント能力（情報や状況の把握力、現実検討能力、分析力）を身につける。</p> <p>○グループワークを中心に行い、自分の思いを顕在化させ、整理し、他者に伝えることができるようになることを目指す。</p>			
1	精神科病院社会的入院の解消；精神科病院の長期社会的入院という実状に対して、人権や医療と福祉の機能の視点から考えていく。			
2	入所施設からの地域移行；コロニー（大型施設）解体、入所施設サービスの在り方等、「より家庭的な環境での暮らし」について考える。			
3	親亡き後；「8050問題」「親元からの地域移行」と言われる状況を理解し、取り組み方を考える。			
4	虐待；特に「経済的虐待」の状況を理解し、同時に生じている複合的な虐待状況を理解し、どう対処するかを考えていく。			
5	触法行為；様々な程度の触法行為に及ぶ方々の多くが何らかの障害を持っている状況を理解し、責任能力、治療との問題、迷惑行為にどう対応していくかを考える。			
6	災害時支援；福祉避難所の在り方、事業継続計画（BCP）、「平時にできないことは有事にもできない」について考えていく。			
7	働くという自己実現；疾病や障害を持った場合に働くことをどう考えるか、働かない選択肢、福祉的就労、貧困、余暇についても考えていく。			
8	ライフステージの課題1；先天性障害（特に発達障がい）の受容について考える。			
9	ライフステージの課題2；義務教育課程の過ごし方と卒業時の進路選択を、障害の有無にかかわらず、人生の大きな転機の課題について考える。			
10	ライフステージの課題3；障害の有無にかかわらず、社会人としての自己実現、折り合い、障害の受容、地域で生活していくこと（家族、親子、結婚等）についても考える。			
11	ライフステージの課題4；老い、介護、死について考える。			
12	施設コンフリクト；「社会福祉施設の新設などにあたり、地域社会の強力な反対運動の際に生じる紛争事態」を考えることにより、地域課題への取り組み方を考える。			
13	地域包括ケアシステム；「丸ごと我が事」（自助、互助、共助）、行政の役割（公助）、連携、介護保険の課題、「にも包括」の課題について考える。			
14	対人援助；職業としての福祉、ソーシャルワーク、自己覚知などについて考える。			
15	まとめ；今までの課題の中から自分が特に気になった課題を取り上げ、自己覚知を図る。			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
参考書	<p>ケースワークの原則 援助関係を形成する技法 [新訳改訂版] (誠信書房) 著：F. P. バイステック 訳：尾崎新 他</p> <p>施設コンフリクト 対立から合意形成へのマネジメント (幻冬舎ルネッサンス新書) 著；野村 恭代</p> <p>死ぬ瞬間-死とその過程について (中公文庫) 著；エリザベス・キューブラー・ロス 訳；鈴木 晶</p>			
成績評価				

評価方法		割合(%)
課題提出		90
学習態度		10
学習到達目標	共感する力（感受性）を磨き、先の見通しを立てる力（想像力、推察する力）及び支援者として必要なアセスメント能力（情報や状況の把握力、現実検討能力、分析力）を身につける。 自分の思いを顕在化させ、整理し、他者に伝えることができるようになる。	
先修条件		
実務経験		
その他		